

令和4年度 全体計画

笠岡市立青空認定こども園

教育・保育理念		○子どもの健やかな成長と安全を第一に、保護者や地域社会、関係機関と連携して、就学前の教育・保育施設としての使命を全うする。 ○「信頼と協力」をモットーに明るく、開放的な教育・保育の場をつくる。 ○職務について、常に計画的に研鑽を積み、教育・保育施設の専門職として資質、能力の向上を図る。 ○定期的な園庭開放や親子活動、育児相談など、地域の子育て支援の拠点として、常にその役割を果たすよう努める。						
教育・保育方針		○興味や関心をもとにした直接的、具体的な体験を重ねることで、心身の調和のとれた発達の基礎を培う。 ○安全の確保と情緒の安定、信頼関係を基盤として、多様な経験や人との関わりを通して、自発性や自己肯定感を育むとともに、道徳性の芽生えを培う。 ○自然や社会などの事象について、積極的に関わろうとする意欲や態度を育てていく中で、豊かな感性や思考力、表現力などの基礎を培う。 ○様々な活動に楽しく取り組んで、体を動かす心地よさを感じることで、自分の体に関心をもって大切にしようとする心情を育み、健康で安全な生活を営むための基礎を培う。			めざす子ども像	○ しっかり遊び、いきいきと活動する子ども ○ 自分で考えて行動し、最後までやりとげる子ども ○ 自分も友だちも大切にできる子ども		
教育・保育目標		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
		○保健的で安全な環境の下で個々の欲求を満たし、快適に過ごせるようにする。 ○個人差に応じて、睡眠・食欲・遊びを充足し、生活の安定を図る。	○先生との信頼関係の下、安心して過ごす。 ○探索活動を通して、十分に聞く、見る、触れるなどの経験をし、人や周りのものへの関心をもつ。	○先生との安定した関わりの中で、生活に必要な身の回りのことを自分でできる喜びを感じる。 ○身近なことの模倣あそびやごっこ遊びを楽しみ、先生の仲立ちにより友達との関わりを広げる。	○園生活の流れや生活の仕方が分かり、自分で身の回りのことをしようとする。 ○先生や友達に親しみを持ち、友達と遊ぶことを楽しみながら、安心していろいろな遊びに取り組む。	○基本的な生活習慣を身につけ、自分から進んでしようとする。 ○先生や友達と関わりながら、一緒に活動する楽しさを味わう。 ○いろいろな遊びに興味を持ち、進んで取り組む中で満足感を味わう。	○他の人々と親しみ、支えあって生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。 ○感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。	
		教 育 ・ 保 育 内 容						
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
養護	生命の保持	一人一人の生活リズムが整うように配慮する。	家庭との連携を密にして安全、安心に過ごせるようにする。	自我の育ちを大切に、安心、安全に過ごせるようにする。	基本的な生活習慣が身に付けられるようにする。 運動機能を高めるようにする。	生理的な欲求の満足や体の十分な活動をする。	基本的な生活習慣が身に付き、自信を持って健康で安全な生活が送れるようにする。	
	情緒の安定	スキンシップにより心地よさや安心感を得られるように配慮する。	一人一人の気持ちを表し、欲求を満たしながら安心して過ごせるようにする。	子どもの気持ちに共感し、信頼関係を築く。	自我を大切にし主体的に行動できるようにする。	日々の生活に安心感を持ち、のびのびと友達と関わっていけるようにする。	周囲の環境や人とのかかわりの中で達成感を持ち、主体的・意欲的に活動ができるようにする。	
教育及び保育	健康	清潔になることの心地よさを感じる。	身の回りの簡単なことを自分でしようとする気持ちが芽生える。	身の回りのことを援助してもらいながら、自分でやろうとする。	身の回りの清潔に気を付ける。 生活に必要な基本的なことについて自分で行おうとする。	健康や安全な生活に必要なことに関心をもって、身に付けようとする。	自分の体に関心を持ち、健康で安全に過ごす。	
	人間関係	特定の保育教諭とのかかわりにより信頼関係が生まれる。	友達や保育教諭とのかかわりを楽しむ。	身近な大人や友達に関心を持ち、自ら関わろうとする。	ルールのある遊びの中でルールを守ろうとする。	友達と一緒に活動する楽しさを知る。	遊びや行事を通して、友達を応援したり、力を合わせる大切さを知る。	
	環境	安心できる人的及び物的環境の下で感覚の働きを豊かにする。 外気に触れ、心地よさを感じる。 花や虫など、園内の自然を見たり触れたりする。	身の回りの様々なものに触れ、興味や好奇心をもつ。 散歩に出かけ、探索活動を通して様々な感覚の働きを豊かにする。	自然物を見たり、触れたりして遊ぶ。 散歩に出かけ、好奇心や探求心を持つ。	身近な自然や環境に興味関心をもつ。 散歩に出かけ、自然物を通して大きさ、美しさ、不思議さに気づく。	自然など身近な環境へのかかわりや遊びを体験していく。 園外保育に出かけ、自分たちの住んでいる地域に関心を持つ。	身近な事柄に興味を持ち、数、文字、標識などに関心をもつ。 園外保育に出かけ、生活に関係の深い情報や施設に興味や関心を持つ。	
	言葉	語りかけられることにより声を出し、応えようとする。	簡単な言葉を指さし、しぐさで思いを表そうとし、気持ちを伝えようとする。	自分のしたい事、してほしい事を言葉で表す。	自分の思いを言葉で表現したり、相手の話を聞いたりする。	保育教諭や友達との会話を楽しみ、伝え合う喜びを味わう。	自分の思いを言葉で伝え、人の話を聞いて理解し、相手にも分かるように話す。	
	表現	保育教諭等と一緒に歌やリズムに合わせて体を動かして楽しむ。	保育教諭と一緒に歌ったり、手遊びをしたりリズムに合わせて体を動かして楽しむ。	個々のイメージを膨らませながら、リズム遊びや運動遊びなどを表現する楽しさを味わう。	様々な素材や用意に親しみ、友達と遊ぶ。 身近な自然に触れながら、集めたり使ったりして自分の感じたままに表現する。	いろいろな素材や用具、表現方法に関心をもつ。 木の実や木の葉など身近な自然物を使って、イメージを膨らませながら遊ぶ。	イメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊ぶ楽しさを味わったりする。 身近な自然物を試したり考えたりしながら遊びに取り入れる。	
食育計画 保健計画 安全計画 (別添参照)	・園児が教育・保育を通して、食に関する様々な体験ができるよう工夫し、友達や保育教諭等と食事を楽しむことができるようにする。 ・感染症予防を十分に図るなど衛生面、安全面に十分留意して、園児が安心して生活できるよう園内施設や保育環境を整える。 ・日々の情報交換など健康や安全に関する情報を共有する中で、家庭との連携を図る。			特別な配慮を必要とするこどもへの指導	・障がいがある園児に対して、その特性等を的確に把握して、個別の支援計画及び指導計画を作成し、すべての保育教諭等が正しい理解と認識を深め、組織的に対応する。 ・保育教諭等は一人一人の園児の実態や家庭的な背景を適切に理解し、集団生活を通して、互いにかげがえのない存在であることに気づくように促していく。			
小学校との連携	・アプローチカリキュラムの実践(5歳児) ・小学校児童との交流会の実施 ・小学校体験入学への参加 ・保育教諭等の小学校授業参観、情報交換会、合同研修会への参加			保育教諭等の研修計画	・市主催研修会への参加 ・市内外の公開保育研修会等への参加 ・定期的な園内研修(公開保育)の実施 ・日常的な保育実践や研修会参加報告等をもとにした情報共有の場の設定			
子育て支援	保護者	・定期的な園庭開放 ・育児相談の機会の設定 ・保護者の保育参加 ・園だより等による啓発		主な行事	入園式 誕生会 健康診断 プール遊び 七夕 夏まつり 園外保育 お祭りごっこ 個人懇談 参観日 運動会 秋の遠足 生活発表会 クリスマス会 節分 ひな祭り会 お別れ遠足 卒園式 天神荘との交流			
	地域	・育児相談の場の設定 ・園行事への親子参加						